

# Simple Email Service

よくあるご質問

製品ドキュメント



Tencent Cloud

## 著作権声明

©2013–2026 Tencent Cloud. 著作権を所有しています。

このドキュメントは、Tencent Cloudが著作権を専有しています。Tencent Cloudの事前の書面による許可なしに、いかなる主体であれ、いかなる形式であれ、このドキュメントの内容の全部または一部を複製、修正、盗作、配布することはできません。

## 商標に関する声明



およびその他のTencent Cloudサービスに関連する商標は、すべてTencentグループ下の関連会社主体により所有しています。また、本ドキュメントに記載されている第三者主体の商標は、法に基づき権利者により所有しています。

## サービス声明

本ドキュメントは、お客様にTencent Cloudの全部または一部の製品・サービスの概要をご紹介することを目的としておりますが、一部の製品・サービス内容は変更される可能性があります。お客様がご購入されるTencent Cloud製品・サービスの種類やサービス基準などは、お客様とTencent Cloudとの間の締結された商業契約に基づきます。別段の合意がない限り、Tencent Cloudは本ドキュメントの内容に関して、明示または黙示の一切保証もしません。

## カタログ:

### よくあるご質問

スタートに関するご質問

課金関連問題

送信制限に関するご質問

送信機能に関するご質問

ドメイン名に関するご質問

テンプレートに関するご質問

ID認証と設定に関するご質問

専用IPに関するご質問

配信に関するご質問

APIの使用に関するご質問

コールバックに関するご質問

迷惑メールフォルダに関するご質問

セキュリティに関するご質問

ちゅういじこう

その他のご質問

# よくあるご質問

## スタートに関するご質問

最終更新日: : 2024-01-02 17:38:11

### メール送信を簡単にテストするにはどうすればよいですか。

お客様はご自身のアカウントを使用してテストを行うことができ、1000通の無料利用枠をご用意しております。SESは現在、テスト用アカウントを提供していません。

### 最初から直ちに大量のメールを送信することはできますか。

受信側のEメールサービスプロバイダ (ISP) の制限があるため、一斉送信を行ったことがないドメイン名またはIPの場合は、最初から直ちに大量のメールを送信することはお勧めしません。良好なメール送信効果を得るためには、新ドメイン名/IPは送信を開始する前にWarm Upが必要です。

### Warm Upとは何ですか。

Warm Upとは送信ドメイン名、送信IPのウォーミングアッププロセスです。Eメールの配信プロセスは複雑であり、各Eメールサービスプロバイダ (ISP) は一般的に、それぞれの送信ドメイン名/IPの1日最大送信量に制限を設けています。一斉送信を行ったことがないドメイン名/IPの場合、最初から1日で大量のメールを送信することはできません。良好なメール送信効果を得るためには、送信量を毎日段階的に増やし、最終的に1日に大量送信が可能になるようにする必要があります。毎日段階的に送信量を増やすプロセスがウォーミングアップであり、Warm Upとも呼ばれます。ウォーミングアップのプロセスは通常、同一のドメイン名/IPに対して1回のみ行います。SESサービスは自動ウォーミングアップをサポートしています。 [製品機能 > 自動Warm Up](#) をご参照ください。

# 課金関連問題

最終更新日: 2024-01-02 17:38:11

## どうすればTencent Cloud SESの利用状況を追跡できますか。

SES コンソールの [送信データ](#) にアクセスすると、利用状況の確認ができます。送信データおよび [料金説明](#) により、利用料金を確認できます。

## 後払いのパッケージはありますか。

後払いのパッケージはありません。後払いは自動的に従量課金となります。

# 送信制限に関するご質問

最終更新日: 2024-01-02 17:38:11

## どのEメールアドレスからでもEメールを送信できますか。

**送信できません。** プッシュ型メールは、お客様が所有するアドレスまたはドメイン名からのEメール送信にのみ使用できます。

まずドメイン名を検証し、お客様が所有していることを証明する必要があります。Tencent Cloudアカウント1つにつき、最大10個のドメイン名を設定することができます。メールアドレスおよびドメイン名の検証に関するその他の情報については、[クイックスタート](#)における送信ドメイン名のID認証の設定をご参照ください。

## プッシュ型メールで送信されるEメールのサイズに制限はありますか。

4MBまでのEメールに対応しています。これには、メールに添付された画像や添付ファイルも含まれます。

## 送信できるEメール数に制限はありますか。

各プッシュ型メールアカウントには、それぞれ1セットの送信制限があります。これらの制限は次のとおりです。

- 1日あたりの送信限度枠: 24時間に送信可能なEメールの最大数です。新しいアカウントの初期の1日あたり限度枠は500通ですが、リアルタイムでアップグレードできます。アップグレードのルールについては [レピュテーションレベルの説明](#) をご参照ください。
- 最大送信速度: 1秒あたりにEメールを送信できる受信者の最大数です。デフォルトではアカウントごとのUIN頻度は20回/秒に制限されています。
- 1時間以内に同じ受信トレイに送信されるEメールの上限数（受信トレイの場合）です。1時間以内に同じメールボックスに送信されるデフォルトの送信メール上限数は10通です。この上限を超えて、1時間以内にこのメールボックスにメールを送信し続けるとブロックされますので、1時間後に再度送信してください。この対策は、ビジネスの制御不能や異常なプッシュを防ぐためのものです。

### **ご注意:**

苦情率やバウンス率が高いなど、メールの品質に問題がある場合、当社はSESによるEメール送信を一時停止する権利を有しています。

## メール件名の形式に制限はありますか。

メール件名はUTF-8形式である必要があります。最大文字数は998文字で、これを超えると送信が許可されません。Tencent Cloudは、漢字は78文字以内に抑えることをお勧めしています。

## APIプッシュの受信者アドレスに制限はありますか。

APIプッシュの受信者アドレスに制限はありませんが、受信者アドレスが有効である（クローラーやサードパーティによる購入ではない）ことを確認するために、ユーザーが能動的にトリガーまたは購読する必要があります。

**カスタムコンテンツの送信を申請するにはどうすればよいですか。**

テンプレートを使用したメール送信のみがサポートされています。

# 送信機能に関するご質問

最終更新日: : 2024-01-02 17:38:12

**プッシュ型メールはSMTPエンドポイントノードを提供しますか。**

プッシュ型メールはSMTPエンドポイントノードを提供します。[SMTPドキュメント](#)をご参照ください。

**プッシュ型メールを使用して既存のアプリケーションからEメールを送信できますか。**

プッシュ型メールは現在、既存のアプリケーションからのEメール送信をサポートしていません

**プッシュ型メールは添付ファイル付きのEメールを送信できますか。**

プッシュ型メールは、ドキュメント、画像、オーディオ、ビデオなど、多くの一般的なコンテンツ形式をサポートしています。

# ドメイン名に関するご質問

最終更新日: 2024-01-02 17:38:12

## DNSは誰が、どのように設定するのですか。

- Tencent CloudのDNS解決サービスを利用している場合は、[Tencent Cloudコンソール](#)で直接設定することができます。
- 他のドメイン名サービスプロバイダを利用している場合は、ドメイン名解決をTencent Cloudに移行することができます。
- それ以外の場合は、ご利用のドメイン名サービスプロバイダで設定をお願いします。

## 必要に応じてDNSを設定したのですが、検証が失敗するのはなぜですか。

DNSは同期を完了するまでに時間がかかります。お客様のTTLにもよりますが、通常は10分かかり、ある程度の遅延が発生する場合があります。設定後、まずツールを使用してチェックを行い、誤りがないかご確認ください。問題がない場合は、しばらくお待ちください。

## プッシュ型メールアドレスはICP登録して承認される必要がありますか。

- ドメイン名がメール送信にのみ使用されている場合は、ICP登録の承認は必須ではありません。
- ドメイン名のAレコードが中国本土のサーバーを指している場合は、ICP登録が必要です。

## プッシュ型メールでメールボックスドメイン名とExmailドメイン名の間には競合はありますか。

SPFレコードとMXレコードの競合を避けるため、メールボックスドメイン名と通常のExmailドメイン名を併用することはお勧めしません。

併用しなければならない場合は、ユーザーがSPFを統合する必要があります。また、Exmailドメイン名がすでに存在する場合、第2レベルドメイン名を作成して使用することも可能です。

## 同じメインドメイン名下のサブドメインをプッシュ型メールにも使用できますか。

同じメインドメイン名下のサブドメイン名は、プッシュ型メールに使用することができます。

## サブドメイン名ごとに異なるメールボックスサービスを使用すると、何か影響はありますか。

サブドメイン名ごとに異なるメールボックスサービスを使用しても、何も影響はありません。

# テンプレートに関するご質問

最終更新日: 2024-01-02 17:38:11

## プッシュ型メールのテンプレートの審査にはどのくらい時間がかかりますか。

営業日にメールテンプレートを提出した場合、通常は1営業日以内に審査が完了します。

休日にメールテンプレートを提出した場合、翌営業日以内に審査が完了しますので、しばらくお待ちください。

## メールテンプレートの内容にはどのような基準がありますか。

テンプレートは実際のビジネスを反映しており、変数以外のテキストコンテンツは、メールの意味やユースケースが判断できるものでなければなりません。同じユーザーで異なるテンプレートのビジネスタイプは統一を図り、特殊な事情がある場合はあらかじめ説明する必要があります。

- **字数の要件:** マーケティングメールの場合は最低150文字、通知やトランザクション、テストメールの場合は最低50文字としてください。トリガーマイルの場合、字数の要件はありません。
- **変数の長さ:** 変数とテキストの比率は1:5以下にしてください。変数の長さはあまり大きなスペースを取ってはずらず、フルバリアブルテンプレートはサポートされていません。
- **画像数:** 50枚を超えないようにしてください。フルイメージテンプレートはサポートされていません。また、テキストのない画像1枚のみのテンプレートもサポートされていません。
- **コンテンツの要件 (以下の要件を含みますが、これらに限定されません) :**
  - フィッシング、チャージの抽選、ポルノ、規制薬物、暴力、脅迫、ギャンブル、宝くじ、キャッシュバックリベート、タイムセール、ローン、借金の催促、サクラ行為、宗教、迷信、QQ・WeChat・グループの追加、請求書の発行代行などの内容は禁止されています。
  - スパムメール、内容の不明確なメール、グレーメールなどは禁止されています。
  - URLのウェブリンク、リダイレクトリンクは禁止されています。
  - 受信者の許可を受けていないEメール送信は禁止されています。

### 📌 説明:

- テンプレート審査の不合格理由は、赤い感嘆符で表示されます。
- テンプレート審査基準は上記の要件を含みますが、これらに限定されません。Tencent Cloudは変更に応じて、この審査基準の条件を一部変更する権利を有します。

# ID認証と設定に関するご質問

最終更新日: 2024-01-02 17:38:11

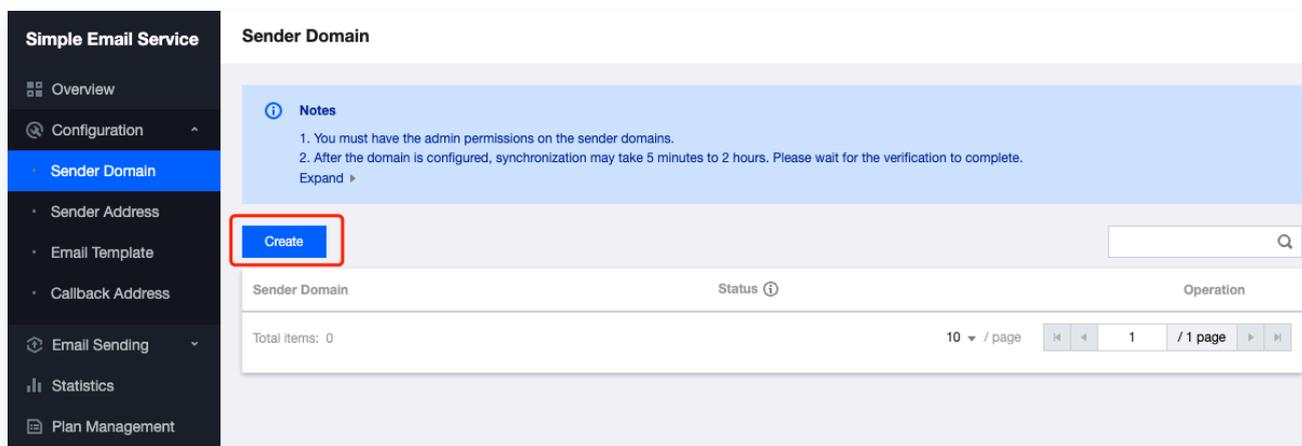
プッシュ型メールはどのようなID認証メカニズムをサポートしていますか。

SESは、DomainKeys Identified Mail(DKIM)、Sender Policy Framework(SPF)、ドメインベースのメッセージ検証、報告、およびDomain-based Message Authentication, Reporting, and Conformance(DMARC)、MXレコード(MX record)といったあらゆる業界規格のID認証メカニズムをサポートしています。

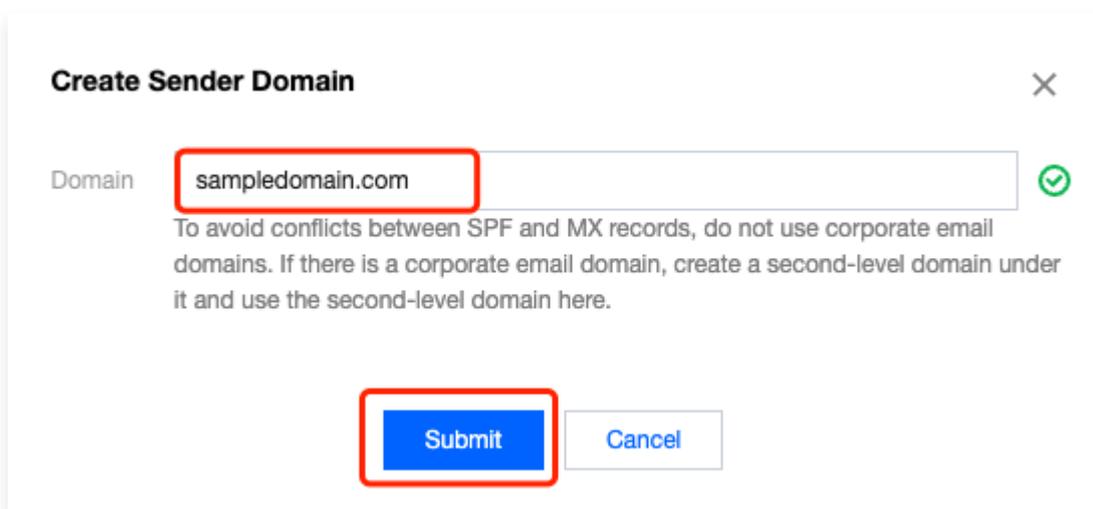
送信ドメイン名を設定するにはどうすればよいですか。

## ステップ1: DNS解決インターフェースの設定

1. **送信ドメイン名**の設定ページで、**新規作成**をクリックします。



2. ドメイン名の入力が完了したら、**提出**をクリックします。



! 説明:

- sampledomain.comはサンプルです。ここにご自身の送信ドメイン名を入力します。
- 入力したドメイン名がsampledomain.comの形式であれば、それはメインドメイン名です。入力したドメイン名がabc.sampledomain.comの形式であれば、メインドメイン名ではありません。メインドメイン名を使用して送信するかどうかによって、それ以降の設定に違いが生じます。詳細については、対応する説明をご参照ください。

3. **送信ドメイン名**の設定ページに戻り、**検証**をクリックします。

**Simple Email Service**

Sender Domain

**Notes**

1. You must have the admin permissions on the sender domains.
2. After the domain is configured, synchronization may take 5 minutes to 2 hours. Please wait for the verification to complete.

Expand ▶

Create

Sender Domain	Status ⓘ	Operation
sampledomain.com	Pending verification	<a href="#">Verify</a> <a href="#">Delete</a>

Total items: 1

10 / page

1 / 1 page

4. 画面にポップアップされる「レコード値」の内容を記録します。

**!** 説明:

下図はサンプルです。実際の画面に表示される内容に従ってください。

Sender Domain Configuration [Help](#)**DKIM Verification (Required)**

Type	Domain	Record Value	Current Value	Status
TXT	mail_domainkey.sampledomain.com	v=DKIM1; k=rsa; p=.....		Pending verification
TXT	qcloud_domainkey.sampledomain.com	v=DKIM1; k=rsa; p=.....		Pending verification

**MX Verification (Required) , The record value must be ended with "."**

Type	Domain	Record Value	Current Value	Status
MX	sampledomain.com	mxbiz1.qq.com.		Pending verification

**spf Verification (Required)**

Type	Domain	Record Value	Current Value	Status
TXT	sampledomain.com	v=spf1 include:qcloudmail.com ~all		Pending verification

**DMARC Verification (Required) , You need to replace dmarc\_report@xxx.com with an email address that can receive email spoofing reports.**

Type	Domain	Record Value	Current Value	Status
TXT	_dmarc.sampledomain.com	v=DMARC1; p=none; rua=mailto:dmarc_report@xxx.com; ruf=mailto:dmarc_report@xxx.com; adkim=r; aspf=r		Pending verification

[Submit](#)[Cancel](#)

5. ドメイン名がTencent Cloudでホストされている場合は、[DNS解決DNSPodコンソール](#)に進んで検証情報を設定してください。対応する送信ドメイン名をクリックすると、設定詳細ページに進むことができます。

**説明:**

ドメイン名が他のドメイン名サービスプロバイダでホストされている場合は、リストの詳細に従ってご自身で設定してください。

5. メインドメイン名sampledomain.comを例に、レコードを追加します。上記の [ステップ4](#)の対応する「レコード値」を入力します。

○ MX検証

ホストレコードへの入力: @

レコードタイプの選択: MX

レコード値への入力: mxbiz1.qq.com.。メールサーバーをお持ちの場合は、レコード値にメールサーバーアドレスを入力してください。

❗ 説明:

- 送信ドメイン名がメインドメイン名ではなく、例えばabc.sampledomain.comの場合、ホストレコードにはabcと入力します。
- レコード値の末尾には必ず「.」を入れてください。一部のドメイン名サービスプロバイダでは、MXのレコード値の末尾に自動で追加されます。

○ SPF検証:

ホストレコードへの入力: @

レコードタイプの選択: TXT

レコード値への入力: v=spf1 include:qcloudmail.com ~all

❗ 説明:

- 送信ドメイン名がメインドメイン名ではなく、例えばabc.sampledomain.comの場合、ホストレコードにはabcと入力します。
- 同時に複数のSESサービスプロバイダを使用している場合は、それらすべてのサービスプロバイダのドメイン名をレコード値の中に含めておく必要があります。例えば、v=spf1 include:qcloudmail.com include:domain1.com ~allのうち、domain1.comは他のSESサービスプロバイダのドメイン名です。送信ドメイン名のDNS設定に、SPFレコードが1つしかないことを確認してください。

○ DKIM検証:

ホストレコードへの入力: qcloud.\_domainkey

レコードタイプの選択: TXT

レコード値にはご自身の「レコード値」を入力します。

❗ 説明:

送信ドメイン名がメインドメイン名ではなく、例えばabc.sampledomain.comの場合、ホストレコードにはqcloud.\_domainkey.abcと入力します。

○ DMARC検証:

ホストレコードへの入力: `_dmarc`

レコードタイプの選択: TXT

レコード値への入力: `v=DMARC1; p=none`

❗ 説明:

- 送信ドメイン名がメインドメイン名ではなく、例えばabc.sampledomain.comの場合、ホストレコードには\_dmarc.abcと入力します。
- DMARCレコードには必ずvおよびpタグを含めなければなりません。DMARCについてよくご存じの場合は、必要に応じて他のタグを追加することや、タグの値を変更することが可能です。

6. 再び [ステップ4](#) 画面に戻り、**検証提出**をクリックして検証を行います。「現在の値」には、上記のDNS設定で設定した内容が表示されます。検証のステータスが「検証済み」となっていれば、設定は完了です。

## ステップ2: 検証結果

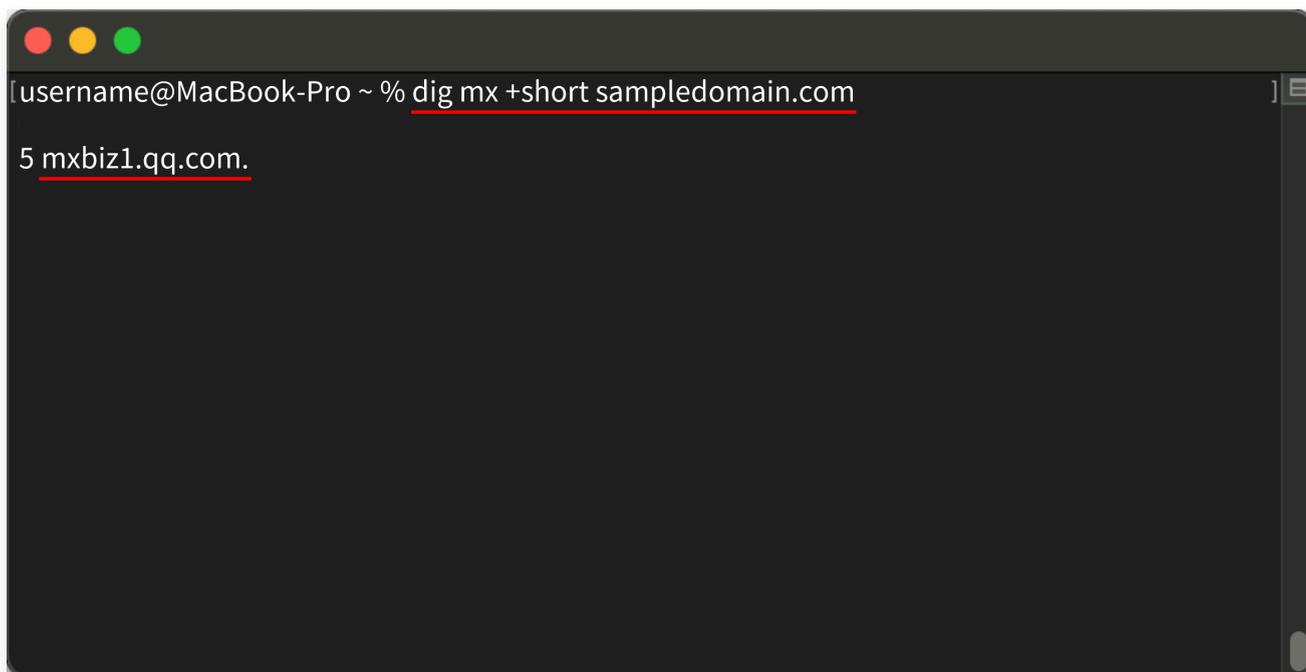
❗ 説明:

「ステップ1」の設定操作を完了し、かつ送信ドメイン名のステータスが「認証成功」となっていれば、このステップで検証を再度行う必要はありません。

ここでは、digコマンドを使用してDNSドメイン名サーバーに問い合わせを行い、送信ドメイン名の設定が完了しているかどうかを確認する方法についてご説明します。

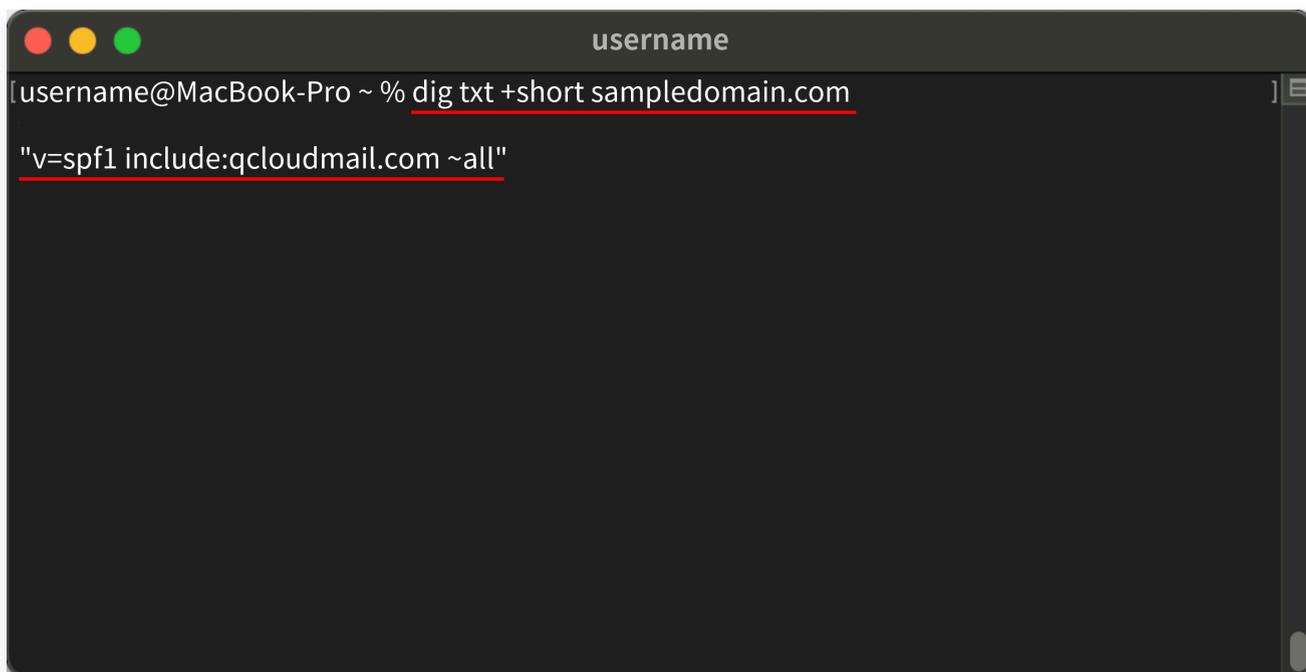
コマンドラインに次のコマンドをそれぞれ入力してエンターキーを押し、戻り値が送信ドメイン名設定画面で対応して表示されるレコード値と同じかどうかをそれぞれ確認します。

- `dig mx +short sampledomain.com`



```
[username@MacBook-Pro ~ % dig mx +short sampledomain.com]
5 mxbiz1.qq.com.
```

- `dig txt +short sampledomain.com`



```
username
[username@MacBook-Pro ~ % dig txt +short sampledomain.com]
"v=spf1 include:qcloudmail.com ~all"
```

- `dig txt +short _dmarc.sampledomain.com`

```
username
[username@MacBook-Pro ~ % dig txt +short _dmarc.sampledomain.com ]
"v=DMARC1; p=none"
```

- `dig txt +short qcloud._domainkey.sampledomain.com`

```
username
[username@MacBook-Pro ~ % dig txt +short qcloud._domainkey.sampledomain.com ]
"v=DKIM1; k=rsa; p=MIGfMA0GCSqGSIb3DQEBAQUAA4GNADCBiQKBgQDKhOlPjP39fqGYrFKZZg
XMBoxwCA/EnQxUFoU/1tSbNmhCMIgYNkBjH0pbyshTj8a0qslKltiulG/030q2dT5H4TG+Eup/HBK
WdroCZ/kyWE1XFV43Y10/3YRiOVMXlONOAwGTK5HDzwMKscbEhmtP50oN/ulOn*****"
```

❗ 説明:

上記のコマンドのうち、sampledomain.comはサンプルです。ここにご自身の送信ドメイン名を入力します。

❗ 説明:

- 上記の設定と確認を行っても、作成したメールのドメイン名に問題がある場合は、[Tencent Cloud技術スタッフ](#)に問い合わせ、解決を依頼してください。
- Dnspodによる解決が登録されているが、digが使えない場合：ドメイン名が実名認証されていない可能性があります（レジストリの設定により解決が停止されます）。

# 専用IPに関するご質問

最終更新日：： 2024-01-02 17:38:12

## 専用IPとは何ですか。

専用IPとは、Tencent Cloudによって特別に割り当てられたメール送信サービスのIPのことです。これらのIPは通常、メールを送信したことのないIPまたは過去に良いレピュテーションを得たことのあるIPであり、反スパム団体にスパムIPとしてマークされていないことを保証することができます。

## SESサービス向けの専用IPを購入する必要がありますか。

専用IPサービスは現在ご提供していません。

# 配信に関するご質問

最終更新日： 2024-01-02 17:38:11

## SESはどのようにして信頼性の高いEメール送信を確保するのですか。

お客様がメールテンプレートを作成した後、当社はメールテンプレートの内容をもとに審査を行います。これらのコンテンツスクリーニング条件は、SESで送信される内容がISPの基準を満たしていることを確認するのに役立ちます。SESはEメールの到達率をさらに引き上げるため、バウンス、苦情、送信通知といったフィードバックループを提供しています。

## SESでEメール送信の成功を保証することができますか。

SESやその他のEメール送信サービスも、すべてのメール送信の100%成功を保証することはできません。メール送信の最終的な成功は、メール内容、ドメイン名レピュテーション、開封率、ユーザーからのクレーム数など、多くの要素から影響を受けるからです。これらはすべてメール到達の成功率に関係します。[メールがスパムメールとして判定されないようにするにはどうすればよいですか。](#) をご参照ください

## SESを使用して送信されたEメールが受信者の受信トレイに到達するまで、どのくらい時間がかかりますか。

通常、メールは3秒から5分以内に受信者の受信トレイに送信されます。Eメールの送信時間は最大72時間です。コンテンツやメールサービスプロバイダのポリシーおよびさまざまな要因の影響により、メールの到達に若干の遅れが生じることが時々あります。そのため到達に5分以上かかることは、正常範囲内です。

## 他のSESユーザーによるバウンスメールや苦情は、自分のEメール到達率に影響を与えますか。

通常、共有IPを使用している場合で、他のSESユーザーがバウンスや苦情を発生させるメールを送信した時は、Eメール到達率に何らかの影響を与える可能性があります。専用IPサービスは現在ご提供していません。

## メール内の画像が表示されない場合はどうすればよいですか。

メール内の画像が表示されない場合は、以下の手順でトラブルシューティングを行ってください。

1. 画像のURLが正しいか確認します。
2. メールボックスのクライアントが画像のロードを禁止にしているませんか。禁止している場合は、「画像を表示する」ボタンをクリックしてください。
3. 受信者が画像をブロックしていないか確認します。

## SESで送信したメールが、Exmailでブロックされた場合はどうすればよいですか。

広告メールの場合、Exmailがブロックされるのは正常な現象です。メールの件名や内容をチェックし、広告に関連する内容を可能な限り表示しないようにしてください。

## メール送信が成功しなかったのはなぜですか。

具体的には、まずAPIドキュメントでエラーコードを確認し、エラーの種類を特定します。

確認する順序:

1. アカウントにQcloudFullAccessの権限があり、SecretIdとSecretKeyが正しいこと。
2. 送信ドメイン名が検証済みかどうか（検証後に設定済みDNSを変更しないでください）。
3. 受信者のアドレスのスペルが正しいかどうか。
4. テンプレートが審査をパスしたかどうか、TemplateData形式が正しいかどうか。
5. 「テンプレートを使用したメールの送信のみをサポートしています」というエラーが報告された場合は、コンテンツの直接送信がサポートされていないことを意味しますので、テンプレートを使用してメールを送信してください。

それでもエラーが発生する場合は、[Tencent Cloud技術スタッフ](#)にお問い合わせください。

## 購読解除の仕組みはどのようなものですか。

ユーザーが購読解除を行った後、Tencent Cloudは購読解除イベントを顧客に通知し、ユーザーの購読解除ステータスを記録します。するとこの送信ドメインは、ユーザーにメールを送信できなくなります。

## ブロックされるメールがあるのはなぜですか。

Tencent Cloudは、ブラックリスト登録アドレスデータベースを保持します。一部のブラックリスト登録アドレスに対しては、Tencent Cloudが送信をブロックすることで、お客様が悪意のあるメールリクエストをフィルタリングできるようにしています。またTencent Cloudは、お客様の送信者としてのレピュテーションを守るため、直近の期間内に拒否された受信者のアドレスをブラックリスト登録アドレスデータベースに追加します。このブラックリスト登録アドレスデータベースは全アカウント共通ですので、他のアカウントでブラックリストに登録された受信者のメールボックスもブラックリスト登録アドレスデータベースに追加されます。ブラックリスト登録アドレスデータベース内のメールボックスは、14日間送信が禁止されます。履歴で送信されたブラックリスト登録アドレスを解除する必要がある場合は、[コンソール](#)にログインして削除するか、APIを使用してそれらを削除してください。初回送信時にブロックされた場合は、他のアカウントで生成されたアドレスの可能性がありますので、有効なアドレスであることが確認できた場合は、[Tencent Cloud技術スタッフ](#)に問い合わせて、削除を依頼してください。

## ユーザー開封率

ユーザーの開封率も、メールが受信トレイに入るかどうかを判断する重要な指標となります。ユーザーのエンゲージメント率が高いほど、そのドメイン名に対するISPのレピュテーションは高くなります。一般的に、登録されたメールの開封率は80%以上になるのが通常です。通知メールはビジネスシナリオによって異なり、マーケティングメールはビジネスサイドが件名や内容を継続的に最適化することで、ユーザーのアクティブなエンゲージメントという効果を発揮させる必要があります。この指標が50%を下回ると、迷惑メールフォルダに入る危険信号とみなします。

# APIの使用に関するご質問

最終更新日: 2024-01-02 17:38:12

## ReplyToAddressesというパラメータはどのような意味ですか。

ユーザーのメールボックスへのメール送信が成功し、ユーザーが「返信」ボタンをクリックすると、返信内容がリアルなメールボックスに返されます（メールボックスは通常どおりメールを受信できます）。

## メール送信エラー: FailedOperation.ExceedSendLimitは、その日の総送信量上限の超過というエラーですが、上限はどのくらいで、拡張は可能ですか。

各アカウントの1日あたりの総送信量上限はデフォルトで30万通ですが、拡張は可能です。拡張したい場合は、[Tencent Cloudテクニカルサポート](#)にお問い合わせください。

## SendEmailインターフェースのTemplate.TemplateDataフィールドは、どのように入力すればよいですか。

“`{}`”は変数が渡されないことを意味します。詳細については、APIドキュメント [TemplateData](#) のフィールド形式をご参照ください。

# コールバックに関するご質問

最終更新日: : 2024-01-02 17:38:12

## コールバックアドレスはどのように入力すればよいですか。

- コールバックアドレス形式の例は、 `https://xxx.yyy.com/callback/exmpale` のようになります。
- コールバックプロトコルの詳細については、 [メール通知イベント](#) をご参照ください。

## コールバックアドレスを複数設定することはできますか。

「アカウントレベル」および「送信アドレスレベル」のコールバックアドレスをサポートしています。「アカウントレベル」のコールバックは1つのみ作成できます。「送信アドレスレベル」のコールバックは、1つの送信アドレスにつき1つのみ作成できます。

# 迷惑メールフォルダに関するご質問

最終更新日： 2024-01-02 17:38:12

## なぜ迷惑メールフォルダにメールが入るのですか。

迷惑メールフォルダは、受信者の総合的な判断戦略です。メールが迷惑メールフォルダに入った場合、Tencent Cloudは、以下の状況に応じてトラブルシューティングすることをお勧めしています。

番号	説明
ケース1	お客様がパブリックドメイン名またはパブリックIPを使用してメールを送信する場合。レピュテーションは共有されており、十分に保証されていないため、他のメールサービスプロバイダからスパムメールとして認識され、迷惑メールフォルダに入れられる可能性があります。
ケース2	新しいドメイン名または新しいIPの場合。新しいIPには何もレピュテーションがないため、最初は迷惑メールフォルダに入る可能性があります。ただ、どのメールサービスプロバイダも自己学習プロセスがあるので、適切な検証メールを送信すれば、徐々に受信トレイに移動するようになります。
ケース3	メール送信のためのwarm upプロセスがなく、短期間に大量のメールが新しいIPに直接送信された場合、他のメールサービスプロバイダによってスパムメールボックスとして認識されます。例えば、新しく割り当てられたIPで初日に10万通のメールを送ると、HotmailやYahooメールなど、より厳しい制限のあるメールサービスプロバイダでは拒否されます。
ケース4	メールボックスの非効率性が高い場合。非効率的なメールボックスは送信者のレピュテーションを大きく損ないます。Tencent Cloudは、IPレピュテーションを保護するためブロック率が8%に達すると、顧客のメール送信を自動的にブロックしてレピュテーションを保護します。
ケース5	メール内容に粗悪なポルノや広告などを含む場合、メールサービスプロバイダからスパムメールとして認識されます。メール内容は画像とテキストの比率が2: 8となるようにデザインし、1通のメールに含まれる画像は3件以内にするをお勧めします（ポルノや広告などセンシティブな情報が含まれないようにしてください）。

## 迷惑メールフォルダにメールが入らないようにするにはどうすればよいですか。

迷惑メールフォルダ行きにならないためのベストな方法とは、上記の質問における5つのケースの発生を減らすことです。

迷惑メールフォルダに入るかどうかは、メール内容、ドメイン名レピュテーション、開封率、ユーザーからの苦情が関係しており、メールサービスプロバイダによって迷惑メールフォルダに関するポリシーも異なります。これをコントロールすることはできませんが、Tencent Cloud SESは送信IPの品質を保証することができます。

新しいドメイン名はメールサービスプロバイダからのレピュテーションがありませんので、通常は迷惑メールフォルダに送信されます。メール内容に問題がなければ、少なくとも1か月はwarm upを続けます。また、ユーザーの

開封率に気を配り、ユーザーの苦情率を減らし、安定した送信状態を一定期間続けることにより、状況は改善します。

## 迷惑メールフォルダに入ったことを知るにはどうすればよいですか。

自分のメールボックスを使ってテストすることもできますし、コンソールにログインして到達率や開封率を観察し、それらが低ければ、ほとんどが迷惑メールフォルダに入ったと判断してよいでしょう。

## テスト段階のメールが迷惑メールフォルダに入った場合はどうすればよいですか。

迷惑メールフォルダは、受信者の総合的な判断戦略です。以下の手順でチェックを行ってください。

1. お客様のドメイン名が過去にスパムメールを送信していないことをご確認ください。ドメイン名のレピュテーションが低すぎると、自動的に迷惑メールフォルダに入ることがあります。
2. メールの件名または内容が不適切な場合、受信者によってスパムメールと判断されます。[mail-testerツールの使用](#)によって、スコアが8を超えるまでメール内容をテストすることができます。

# セキュリティに関するご質問

最終更新日: 2024-01-02 17:38:11

## プッシュ型メールは自分が送受信したEメールにアクセスできますか。

内部アンチスパム技術を使用して、質の悪いコンテンツを含むメールをフィルタリングしています。また、添付ファイルを含むすべてのメールをスキャンし、ウイルスやその他の悪意のあるコンテンツがないかチェックします。プッシュ型メールはEメールの内容を保存しません。

## Eメールを暗号化できますか。

Eメールの送信中に、プッシュ型メールはEメール内容を暗号化します。

## プッシュ型メールはトランスポート層セキュリティ(TLS)を使用して、暗号化された接続でEメールを送信しますか。

プッシュ型メールは、TLS接続にTLS1.2、TLS1.1、TLS1.0の使用をサポートしています。

プッシュ型メールはデフォルトでTLSを使用します。これは、プッシュ型メールが常に受信者のメールサーバーとのセキュアな接続を確立しようとしていることを意味します。プッシュ型メールがセキュアな接続を確立できない場合、暗号化されていない状態でメールが送信されます。お客様はこの動作を変更して、セキュアな接続が確立された場合にのみ、プッシュ型メールが受信者のメールサーバーに送信されるようにすることができます。

## プッシュ型メールは、受信メールがスパムでなく、ウイルスに感染していないことをどのように確認するのですか。

プッシュ型メールは、多くのスパムメール・ウイルス保護対策を採用しています。Tencent Cloudは、ブラックリスト登録アドレスデータベースを保持します。一部のブラックリスト登録アドレスについては、Tencent Cloudが送信をブロックすることで、お客様が悪意のあるメールリクエストをフィルタリングできるようにしています。また、添付ファイルを含むすべての受信メールに対して、ウイルススキャンを行います。プッシュ型メールは、スパムメールを検出する方法を提供しています。スパムメールとウイルスのスキャン結果に加えて、プッシュ型メールはDKIMとSPFのチェック結果を提供します。

## プッシュ型メールユーザーのスパムメールを防ぐには、どのような技術がありますか。

プッシュ型メールの内部コンテンツフィルタリング技術を使用してスパムメールかどうかを検出しています。さらに、ユーザーがEメールコンテンツをセルフチェックできるように、メール品質スコアリングツールも提供しています。スパムメールや悪意のあるコンテンツを送信しているアカウントを発見した場合、そのアカウントによるその他のメール送信機能を一時停止します。

### **ご注意:**

スパムメールではないからといって、そのメールが迷惑メールフォルダに入らないことが保証されるわけではなく、メール品質スコアはあくまでも参考値です。迷惑メールフォルダに入るかどうかは、メール

内容、ドメイン名レピュテーション、開封率、ユーザーからの苦情など、さまざまな要因に関係しており、メールサービスプロバイダによって迷惑メールフォルダに関するポリシーも異なります。これをコントロールすることはできませんが、プッシュ型メールは送信IPの品質を保證することができます。

# ちゅういじこう

最終更新日: 2024-01-02 17:38:12

## DNS有効性検証

DNSの設定に関する事項については、お客様はツールを使用してDNSの設定が有効であるかを検証することができます。[グローバルDNS同期検出ツール](#)をご参照ください。

## メールアドレスの有効性

bounce（Eメールバウンス）率とは、ISPが評価するハード指標です。bounceが発生する原因として考えられるのは、無効なメールアドレス、つまり間違ったターゲットアドレスに送信されることです。継続的な送信のbounce率が高すぎると、ISPは悪意のある送信者と判断して、メールを迷惑メールフォルダに送ったり、送信IPをブロックしたりします。メール送信のbounce率は5%以下が望ましいとされています。ビジネスサイドのメールアドレスの品質があまりにも低い場合は、まず前処理としてフィルタリングが必要です。

## 迷惑メールフォルダ

いかなる送信者も、特に新しいドメイン名の初期状態でISPからのレピュテーションがない場合は、メールがユーザーの迷惑メールフォルダに入らないように保証することはできません。メールがユーザーの迷惑メールフォルダに入るのは正常な現象です。ドメイン名のレピュテーションを向上させるには、優れたWarmupとユーザーエンゲージメントが必要です。ISPはレピュテーションに応じて動的に調整を行い、最終的にメールをユーザーの受信トレイに送信します。したがってすべてのビジネスサイドで、「メールが届かない場合は、迷惑メールフォルダをご確認ください」というユーザープロンプトを追加することをお勧めします。

## メールがスパムメールとして判定されないようにするにはどうすればよいですか。

1. メールのタイトルを適切で、個性的すぎないものとし、明らかに営業目的だと見えないように注意しましょう。
2. チャージの抽選、ギャンブル、ポルノ、規制薬物、わいせつ物など、明らかに「スパム」と思われる内容や違法な内容は避けましょう。また、過度に商業的な用語も避けてください。
3. テキストと画像の量のバランスを取り、画像を多用しすぎないでください。また、メール内容をテキストなしの大きな画像を1枚だけにしないでください。
4. メール内容に、スパムメールとして認識されやすいURLリンクやリダイレクトリンクを含めないでください。
5. メールには通常のフォントを使用し、さまざまな色や芸術的なフォントは使用しないでください。
6. 目立つ購読解除ボタンの設置に注意する: メール内容に目立つ購読解除ボタンを挿入することで、ユーザーがお客様から提供された製品やサービスを必要としない場合に、メールに嫌悪感を抱くことを防ぐことができます。通報したりブラックリストに追加したりするのではなく、購読解除ボタンを直接クリックすれば停止できるので、ユーザーに好印象を与え、メールがスパムとして認識される確率をある程度引き下げることができます。

7. メールのHTMLコードを標準化する: 標準化されていないコードは、メールフィルターによってスパムメールと判定される可能性がありますので、プロのコーダーやメール専用テンプレートの使用が必要です。
8. 顧客に友人や連絡先として追加するよう促す: 受信者がお客様を友人や連絡先リストに追加していれば、メールはスパムとして判定されることなく、確実に受信トレイに届きます。顧客には、友人や連絡先として追加するよう促すと良いでしょう。
9. 受信者リストを定期的にクリーンアップする: 受信者の多くが到達不能状態であることがわかった場合、ほとんどのメールサービスプロバイダのスパムメールフィルターは、お客様のドメイン名またはIPに高いスパム指数を与えます。このような場合、受信者リストを頻繁にクリーンアップする必要があります。
10. 正式なメール送信前にメールテストを実施する: 正式なメールを受信者に送信する前に、自分のアカウントを使ってテストすることができます。この方法で、どのようなメールがスパムとして判定されやすいかを推測することもできるため、メール内容を最適化できます。

## 一斉送信時の注意事項

1. コンソールの一斉送信機能は、マーケティングメールや通知メールといった一斉送信に適しています。トリガメール (ID認証、取引関連など) は、API-SendEmailインターフェースを介して送信することをお勧めします。
2. 一斉送信には自動Warm Up機能が内蔵されています。Warm Up機能の詳細については、[スタートに関するご質問 > Warm Upとは何ですか](#) をご参照ください。
3. 同じドメイン名に対して複数の送信タスクを実行することができます。総送信量が当日の最大送信量を超えた場合、超過した未送信のメールはキューキャッシュに入れられ、翌日送信されます。
4. タスクがキューキャッシュに入ると、ステータスは一時停止となり、送信プログレスバーは静止したままの状態になります。翌日、送信タスクを再開すると、ステータスが「送信中」になり、送信プログレスバーが更新されます。

# その他のご質問

最終更新日: 2024-01-02 17:38:12

**プッシュ型メールは、中国本土以外のメールボックスへの送信をサポートしていますか。**

サポートしています。Tencent CloudのSESサービスは200以上の国/地域をカバーしており、世界中のメールアドレスに瞬時に到達できます。メール到達率は最大97%（無効なメールアドレスと特別に制限されたExmailを除く）で、Gmail、Yahoo、Hotmail、163、QQといった主流のメールボックスをサポートし、サービスの安定性とメール到達率に優れたパフォーマンスを発揮します。

**APIドキュメントRegionは中国香港のみをサポートしていますが、他のリージョンのメールボックスにも送信できますか。**

送信できます。Regionはサーバーの所在地を示しているだけで、メール送信リージョンには影響を与えません。

**プッシュ型メールは大量送信のためのシングル表示をサポートしていますか。**

シングル表示の場合は、APIを呼び出す際に、受信者アドレスを入力してください。

**プッシュ型メールにバージョン制限はありますか。**

通常バージョンであれば要件を満たせます。環境のバージョンが低すぎる場合は、Tencent Cloud SDKのプロンプトに従ってアップグレードする必要があります。

**メール送信レコードを照会するにはどうすればよいですか。**

API照会をサポートしています。詳細については、[メール送信ステータスの取得](#)をご参照ください。

**プッシュ型メールの送信方法は何種類サポートしていますか。**

プッシュ型メールサービスは、コンソール送信、APIインターフェース送信、SMTPインターフェース送信といった3種類の送信方法をサポートしています。

**メールが受信トレイにあるのに、開封率が0なのはなぜですか。**

- 送信したメールがHTMLの場合、Tencent Cloudはユーザーの開封イベントをキャプチャし、開封率をカウントすることができます。
- 送信したメールがプレーンテキストメールの場合、Tencent Cloudは開封率をカウントすることができません。